



# 石田裕一



上越市議会市政レポートNo.24

## 令和7年1月1日 上越市合併20周年

《春日山城址・本丸に立ち上越市を望む！》



2025年(巳年)がスタートしました。

上越市は、平成17年に十四市町村が大合併をしてから20年の節目の年を迎えました。

合併当初約21万人で歩み出した人口も、令和7年1月1日現在180,440人となり、この20年で約3万人の人口が減少しました。この人口減少は地域の衰退はもちろんです。市は厳しい財政状況にもなってきました。しかし、私たちはここで暮らしています。さらに幸せに暮らし続けるために、そして子供たちの明日のために、未来に向けて、さらに皆さんと共に、持続可能な地域を創っていきましょう。私も地域の一員として、今後もしっかり取り組んで参りますので、宜しくお願い致します。

### ★2025年・本年は上越市の節目の一年になります！

「上越アニバーサリーイヤー・ロゴマーク」

- ◎第100回高田城址公園観桜会、◎第100回謙信公祭
- ◎北陸新幹線上越妙高駅開業10周年、◎第50回上越まつり
- ◎前島密生誕190年、◎第20回越後・謙信SAKEまつり 等



### ★会派「みらい」活動 《上越市牧区高尾「コサクレム」視察》

一日一組限定、食事提供なし田舎体験、観光もなしただゆっくり一人、仲間、家族で過ごす時間を提供



令和6年10月1日に、上越市牧区高尾にオープンした宿泊施設「コサクレム」へ、会派みらいのメンバーと一緒に宿泊体験、オーナーの鈴木さんとの情報交換ができた。鈴木さんは何か地域のためとか、地域を盛り上げたいとかで、やっているわけではなくて、家を改修するのが好きで、ここの高尾が好きだからやっている、「この地域が好きで、この活動が好きだから」の言葉に共感した。

地域づくりは、その地域を愛する人が、一生懸命暮らしていることが大切である。地域のにぎわいと活性化は、その地域の人の力が必要である。皆さんもぜひ一度牧区高尾にお出かけください。



リビングは吹き抜けて広い



ベッドルームはおどぎ話のよう



キッチンで自炊、楽しく食事



夕陽が綺麗  
向こうは高田の街並みの夜景

# ★視察報告《令和6年度は積極的に個人でも視察に行っていました》

## ◆第99回全国市議会議長会研究フォーラムin盛岡(令和6年10月9日～10日)



盛岡での研究テーマは「主権者教育の新たな展開」。

議員は教育者ではないが、我が街のもめごとを見える化することで、それが学びになる。子供たちの意見、提案、思いが「我が街がこうありたい」と市政について共に考えることは、未来を実現する力になる。

上越市議会も現在小中学生を対象に「議会学習」を実施して、「主権者教育」に力を入れている。今後も市政を共に考え、議会を身近に関心をもってもらう活動に努めていきたい。



## ◆宮城県「多賀城市創建1300年」視察(令和6年10月10日～11日)



多賀城市議会・米澤副議長から議場等をご案内いただき、多賀城市を学ぶ。

多賀城市議会の根本前議長と森現議長との交流があり、この度「多賀城市創建1300年」の多賀城市の節目の年に訪問できた。「さあ、次の千年先の未来につなぐ、門をくぐりましょう」と、歴史から学び、そして新たな時代に向けて、地域をつないでいく活動や思いにふれた。上越市も本年は謙信公祭第100回、2030年には上杉謙信公生誕500年の節目を迎える。

その節目の年に向けて上越市も盛り上げていきたい。大変有意義な視察であった。



外郭南門再建中



国宝「多賀城碑」



多賀城跡に立ち見渡す

## ★上越市議会「議員勉強会」開催

### ●演題「エリアリノベーションとこれからの高田」(令和6年10月21日)



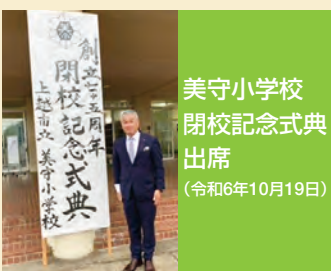
講師の「Rebuilding Center Japan」の代表「東野唯史」氏とは長野県諏訪市とzoomオンラインで結び勉強会を開催。東野氏は東京から諏訪に移住されて、「(株)すわエリアリノベーション社」も設立し、諏訪の空き家活用も進めている。地球資源が循環する仕組みづくりをサポートしている。東野氏の言葉「自分が好きなこと、自分の暮らしがよくなることが、すわの活性化、未来のビジョン、街づくりにつながった」と、ここに大きな街づくりのヒントがあると学ぶ。

### ●演題「議会からの政策サイクル実践の動向」(令和7年1月17日)

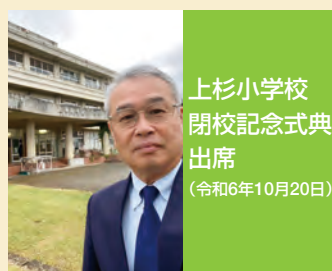


講師に大正大学の「江藤俊昭」氏を招いて勉強会を開催。ユーモアのある先生で、多くの自治体の議会を知っておられて、「一般質問」も各自自治体の総合計画にそった内容でなければいけないと伝えてくれた。さらに一般質問は中長期的な視点に立ってなければいけない。一般質問はするだけでなく、その後どうなっているか追跡することが重要である。提言を評価する。議決したものをチェックする。もっと議員間の討議が必要である。「民主主義とは、市民の希望と参加で始まる、議会に期待している」。もっと皆さんに議会に関わりをもってもらう仕組みを考えなければいけない。

## ★R6年度・三和区「美守小、上杉小、里公小3校閉校」→ R7年4月統合「三和小学校」スタート ★R6年度・諏訪小学校閉校 → R7年4月「戸野目小学校」へ統合



美守小学校  
閉校記念式典  
出席  
(令和6年10月19日)



上杉小学校  
閉校記念式典  
出席  
(令和6年10月20日)



里公小学校  
閉校記念式典  
出席  
(令和6年11月2日)



諏訪小学校  
閉校記念式典  
出席  
(令和6年10月26日)

三和区の3小学校の閉校式典に出席させていただき、あらためて地域とのつながりの強さを感じた。この春からひとつになって、新たなスタートをきる「三和小学校」の子供たちにエールを送る、がんばれ!

諏訪っ子パワーで、戸野目小学校でも、がんばれ!

# ★令和6年度・視察報告 《私が所属する2つの特別委員会》

## ◆議会改革推進特別委員会・視察(令和6年10月30・31日)

### ●新潟県議会「オンライン委員会」について(10月30日)



新潟県議会では「委員会のオンライン開催」に向けて検討に入ったのは、令和6年4月1日施行された地方自治法の改正で、これまで書類のみとされていた関連する手続きが、オンラインでも可能になったこと、コロナ禍を契機に全国で広がったこともあり検討に入った。ハード面でも360度カメラ(マイク・スピーカー内臓)とモニター2台等で低コストで実施できた。ちょうど出産し育児中の議員のオンライン委員会の開催があり、その出席が叶い良かったとコメントが聞けた。オンライン会議の重要性を再認識できた。



### ●神奈川県・横須賀市議会「通年会期制」について(10月31日)



私は今回、横須賀市議会が8年前から先進的に「通年会期制」を導入して良かったことを重点に視察した。特に専決処分を減らす方策として、この通年会期制導入を検討してきて、実際導入して地方自治法第179条「緊急を要する議会を招集する時間的余裕がない時に、市長が議決事件を処理できるもの」の専決処分はなくなった。上越市議会も、この専決処分の議論をおこなっていて同じ考えであるので、大変参考になった。



横須賀市役所

## ◆災害対策特別委員会・視察(令和6年11月18・19日)

### ●愛知県・新城市「新城市議会災害時対応基本計画」について(11月18日)



「新城市議会災害BCP(事業継続計画)」を含む取組みについて、策定に向けて取り組んでこられた佐宗副議長より直接説明が聞けた。当初市側は議会BCP策定には否定的のようであったが、議会が止まるとはいけぬ。議会の機能不振になった時に議会BCPを発令し、議場が被害にあつて本会議、委員会が開けない、議員の大半がコロナ等に感染して議場に來れない、異常事態に対応するとのことである。



### ●静岡県・浜松市「静岡県・静岡モデル防潮堤」について(11月19日)



静岡県浜松土木事務所・沿岸整備課より説明を受けた。ここの防潮堤整備の特徴は、民間の「一条工務店」の創業者が浜松に由来があり、浜松市沿岸の整備に用いてほしいと300億円の寄付を受けたことを契機に、浜松商工会議所14億など民間寄付金が主体だったことが、このようにスピード感をもって行われた事業である。もちろん市民の会を中心に地元も一体となり「オール浜松」で整備を進めてきたことは、すごい一言である。



## ★《市長に問う》※「一般質問」に登壇しました。



令和6年  
第7回(12月)定例会  
一般質問(令和6年12月12日)

### ●郷人会の支援を!

(問)「東京浦川原会」のような故郷上越を想う団体が、会員と役員の高齢化や減少等により解散を迫られている。郷人会の交流が続くように、市として何か支援できないか。

(答)会員数の減少などの課題を抱える郷人会の現状等を鑑み、令和6年4月にふるさと応援室を設置し、首都圏での魅力発信やネットワークの強化に向けた取組を進めている。今後も各区の郷人会と連携して、会の自主性を尊重しながら、組織運営をサポートする取組等について検討していく。

### ●越後田舎体験事業で交流人口拡大を!

(問)「越後田舎体験事業」の事務局が、上越観光コンベンション協会となって2年が経過する。この事業は、交流人口拡大も含め、重要な事業と考えるが、市の考えはどうか。

(答)当市の農山漁村地域における「なりわい」の一つになり得る事業であると認識している。上越観光コンベンション協会の持つ多様なノウハウをいかし、インバウンド等の新たなニーズ発掘にも意を用いながら、受入れ人数の拡大に努める。上越観光コンベンション協会の組織強化を図らなければならないと考える。



★保倉川放水路議連視察実施

令和6年10月4日



「新発田川放水路」と「福島潟放水路」を視察、保倉川放水路促進へ

★上越市総合防災訓練in直江津

令和6年10月12日



上越市防災士会浦川原支部の皆さんと参加、防災意識向上

★えちごくびき野100kmマラソン大会

令和6年10月13日



浦川原区総合事務所前のエイドで誘導ボランティアとして参加

★東京浦川原会・ふるさと訪問

令和6年10月18日



今年度も東京浦川原会の皆さんと月影の郷で楽しく交流会

★聞いて、知って、わたしたちのこと

令和6年11月4日

上越市心身障害者福祉団体連合会



きいて！知って！わたしたちのこと

上越市心身障害者福祉団体連合会・初事業、浦川原手をつなぐ育成会として発表

★上越三市議会議員合同研修会

令和6年11月15日



糸魚川市議会で「これからの地方創生」と題して、新潟日報の小田敏三氏から学ぶ

★新上越斎場完成(内覧会)

令和6年11月29日



新しい上越斎場が完成、令和6年12月より供用開始

★アルビ観戦ツアー開催

令和6年11月30日



うらがわらスポーツクラブ恒例事業、最終戦をみんなで応援GO

★第8回UMAファミリーコンサート

令和6年12月1日



今年も地域で音楽愛好家の発表の場を提供、皆さんと楽しいひと時

★上越市地域青少年育成会議協議会

令和6年12月8日



ふるさと大浦安青少年育成会の統合しての初年度活動報告

★越後田舎体験・インバウンドセミナー

令和7年1月23日



[HAND ON JAPAN]の大橋さんから、これからのインバウンドを学ぶ



私の思い

昨年は元旦に発生した能登半島地震で、当市でも被害が発生し大変な一年でした。令和7年は穏やかなスタートができました。この一年が平穏で、そして健康で幸多い年になることを願います。左は令和7年上越市新年祝賀会に出席して、上越市議会議員の同期3人になってしまいましたが、小林議員と櫻庭議員と今年もがんばることを約束しました。右は新潟県サッカー協会新年会でアルビレックス新潟の中野社長に、今シーズンの活躍のエールを送りました。今年も皆さんがんばっていきましょう！

